価格.com

2013 年 1 月 18 日

価格.com のデータを分析した最新トレンドをお届けする 「価格.com レポート」

円安と旧正月の影響で、この 1 ヶ月間で PC パーツの販売価格が急高騰

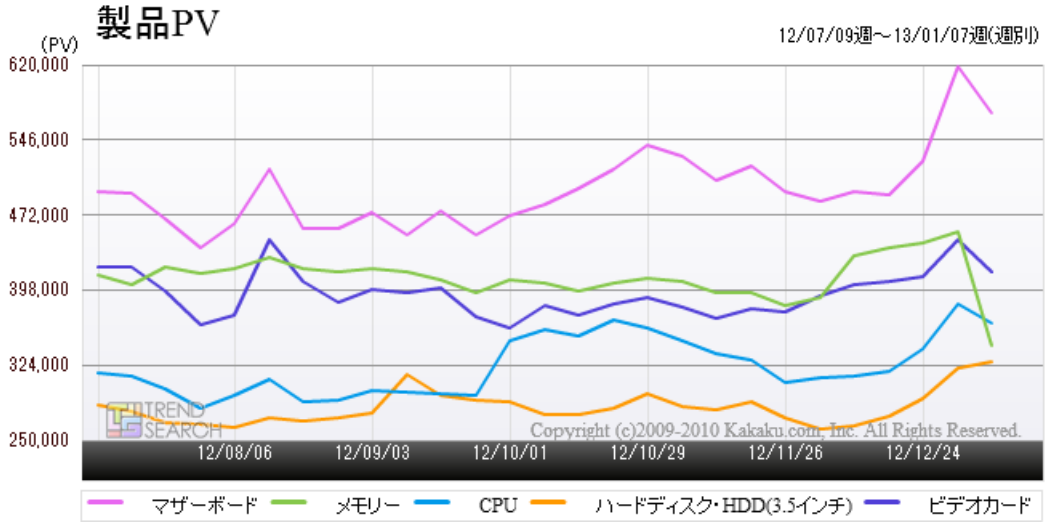
HDD や CPU は 1 割程度、メモリーでは 1.5 倍にも上昇

パソコン本体の価格高騰につながる懸念も！？

1 か月間で販売価格が約 1.5 倍に跳ね上がった「メモリー」

2012 年 12 月に安倍政権が誕生してから、ここ 1 か月ほどで外国為替市場では急激な円安が進んだ。12 月中旬には 1 ドル 84 円程度だった円が、1 月中旬には 89 円程度にまで安くなってきており、1 か月程度で約 5 円程度円安になったことになる。円高状況が長く続いてきたことを思えば、かなり急激な円安と言っていいだろう。この円安によって、輸出業にはプラスの影響があると思われるが、逆に言えば、輸入業には悪影響も懸念される。ひと言で言うなら「物価の上昇」だ。そして、その傾向はすでに、秋葉原界隈で販売されるような PC パーツ製品に現れはじめている。

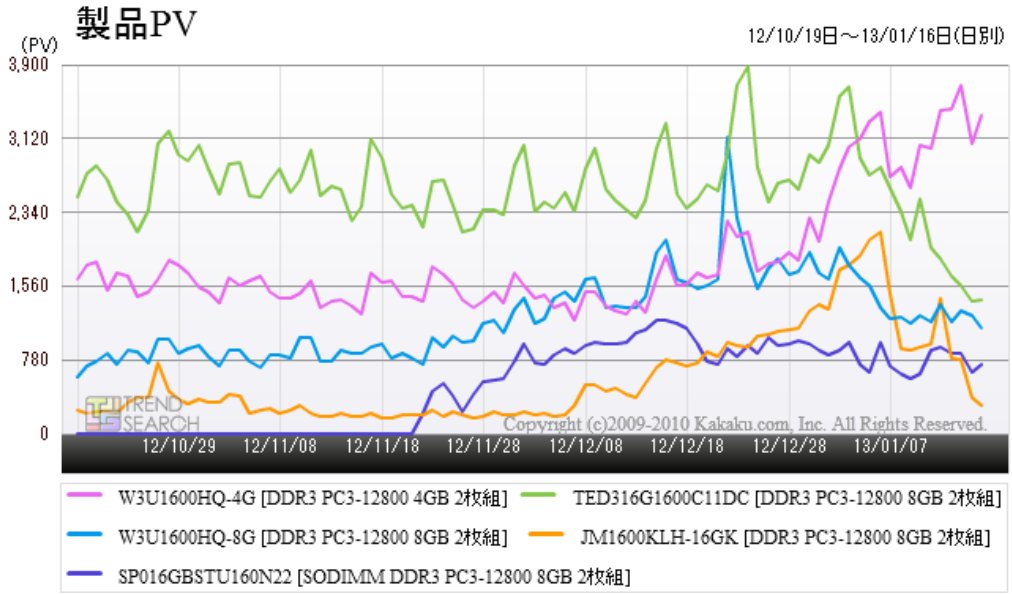
グラフ① 主要 PC パーツカテゴリーのアクセス推移（過去半年）



グラフ①は、『価格.com（http://kakaku.com/）』の主要な PC パーツ製品のカテゴリーへのアクセス数を、「＊価格.com トレンドサーチ」で抽出し、グラフ化したもの。全体的には年末年始にかけてアクセスが伸びており、そこそこ好調であることがわかる。ただ、年が明けてから、ほとんどのカテゴリーのアクセスが減少に転じており、なかには「メモリー」のように、大幅なアクセス減を記録しているカテゴリーもある。これはどういうわけなのだろうか。

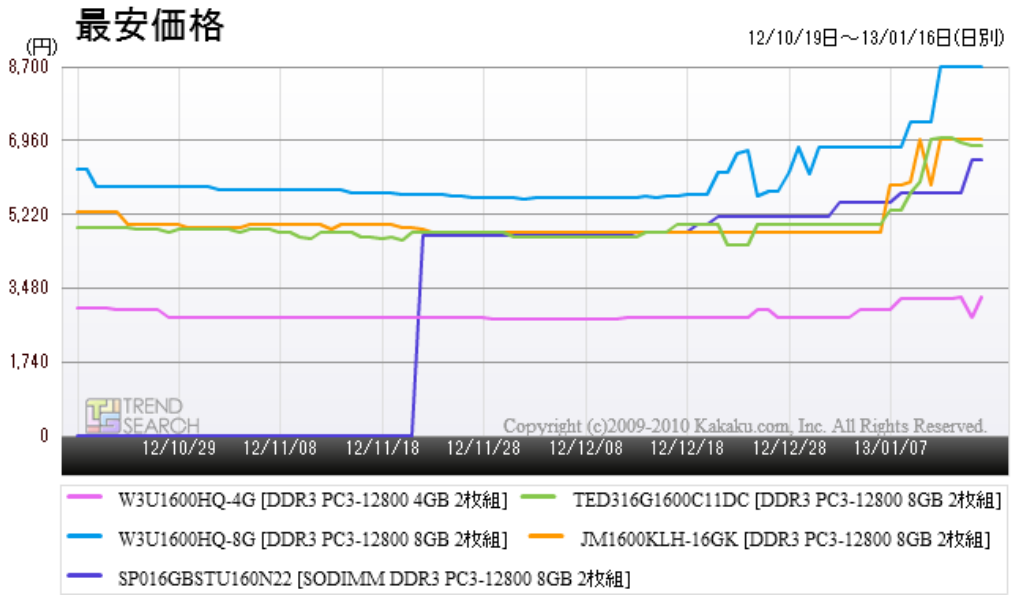
＊価格.com トレンドサーチ：http://kakaku.com/trendsearch/
『価格.com』に蓄積される各種データを集計・分析できる独自ツール

グラフ② 価格.com「メモリー」カテゴリー人気 5 製品のアクセス推移



グラフ②の、価格.com**「メモリー」カテゴリー（**http://kakaku.com/pc/pc-memory/**）の、人気ベスト** 5 **製品のアクセス数を見ると、**2013 **年** 11 **月** 17 **日現在、人気** No.1 **の、**CFD**「**W3U1600HQ-4G [DDR3 PC3-12800 4GB 2 **枚組]」以外の製品は、すべて年明け以降、アクセスを下げており、なかにはそれまで人気** No.1 **だった** Team**「**TED316G1600C11DC [DDR3 PC3-12800 8GB 2 **枚組]」のように、大幅なアクセス減を記録しているものもある。このように、これまで人気のメモリー製品が、年明け以降、相次いで人気を落としているのには、販売価格が大きく影響しているようだ。**

グラフ③「メモリー」カテゴリーにおける人気 5 製品の最安価格推移

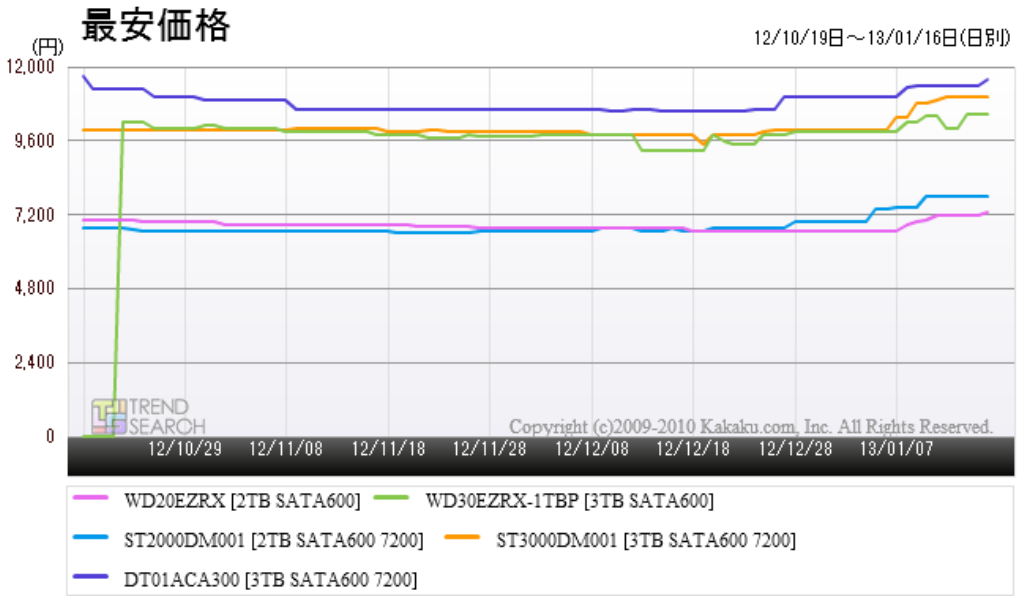


グラフ③のメモリー人気 5 **製品の最安価格推移を見ると、**2012 **年** 12 **月後半以降、すべてのメモリー製品の価格が上昇している。特に、それまで** 5,000**～**6,000 **円程度で販売されていた** 8GB（4GB×2）**クラスのメモリー製品の値上がりが著しい。前述の** Team**「**TED316G1600C11DC [DDR3 PC3-12800 8GB 2 **枚組]」の場合、**1 **か月前の** 12 **月** 17 **日には** 4,780 **円の最安価格をつけていたものが、**1 **月** 17 **日現在では** 6,817 **円にまで値上がりしている。この** 1 **か月間で実に** 2,000 **円以上値上がりした計算で、値上がり率** 142.6%**と**

いう急激な値上がりだ。さらに、CFD の「W3U1600HQ-8G [DDR3 PC3-12800 8GB 2 枚組]」に至っては、この 1 か月間で、最安価格が 5,598 円から 8,670 円へと、3,000 円以上も値上がりした。値上がり率は 154.8%で、わずか 1 か月程度で 1.5 倍以上も値上がりしたことになる。逆に、あまり値上がりしなかった、4GB クラスの CFD「W3U1600HQ-4G [DDR3 PC3-12800 4GB 2 枚組]」のほうに人気が集まってきているという状況だ。このような値上がり傾向はメモリーだけではなく、「HDD」や「SSD」などのストレージ関連にも、じわりと円安の影響が出始めている。

「HDD」や「CPU」などの PC パーツもじわじわと値上がり傾向に

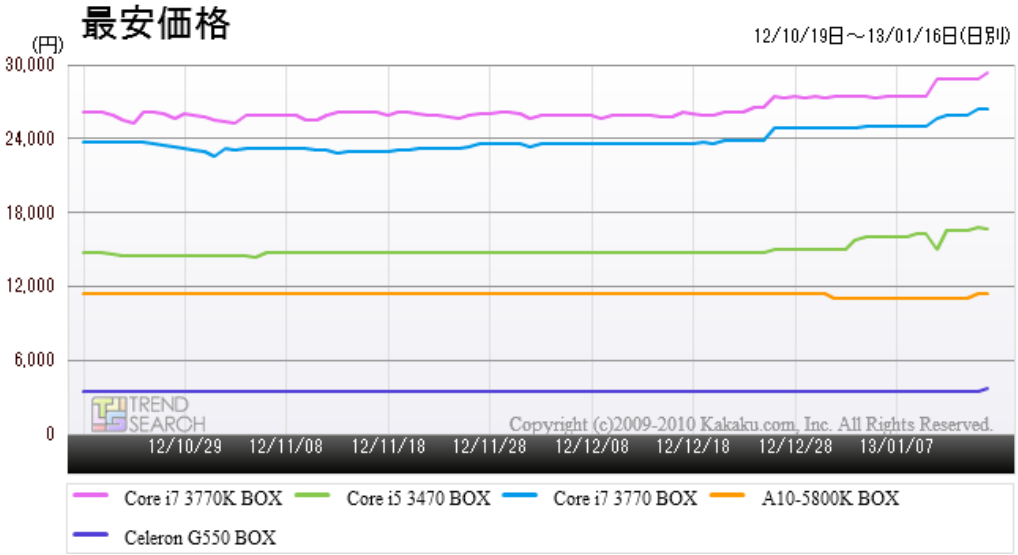
グラフ④価格.com「HDD(3.5 インチ)」カテゴリー人気 5 製品の最安価格推移



グラフ④の、価格.com の「HDD(3.5 インチ)」カテゴリー（http://kakaku.com/pc/hdd-35inch/）の、人気ベスト 5 製品の最安価格推移を見ると、メモリーほどではないものの、年明けくらいから若干値上がり傾向にあることがわかる。グラフではわかりづらいかもしれないが、現在人気 No.1 の WESTERN DIGITAL「WD20EZRX [2TB SATA600]」では、12 月 17 日の最安価格 6,747 円に対して、1 月 17 日現在は 7,269 円となっており、522 円（7.7%）の値上がりとなっていて、ここのところ安定していた 3.5 インチ HDD の価格が、年明け以降、値上がり傾向となってきていることが分かる。なお、同様にストレージ製品である「SSD」に関しては、それほどはっきりした傾向は出ていないものの、いくつかの製品は若干値上がりを始めている状況だ。

また、パソコンの頭脳である「CPU」にも、値上がり傾向が出ている。グラフ⑤で示した「CPU」カテゴリー（http://kakaku.com/pc/cpu/）の、人気ベスト 5 製品の最安価格推移を見ると、5 モデル中 3 モデルが、12 月下旬以降に値上がりしてきている。値上がりしているのは、インテルの高性能プロセッサーである「Core i7」や「Core i5」などが中心で、単価の安いプロセッサーではその傾向は見られない。なお、上記 CPU のこの 1 か月間の値上がり率は 12～13%前後となっている。
このほか、「マザーボード」や「ビデオカード」などにも値上がり傾向が見られるが、前述のカテゴリーほどはっきりとした変化は今のところ出ていない。

グラフ⑤価格.com の「CPU」カテゴリー人気 5 製品の最安価格推移



■円安に加え、中国の旧正月期間の物流停止による在庫薄も、価格高騰に影響

ここまで見てきたメモリー製品をはじめとする PC パーツ製品の価格上昇の背景には、急激な円安の影響がある。メモリーや HDD などのように、製品によって性能差が出にくい PC パーツの場合、とにかく価格勝負になることが多く、その時々の仕入れ価格が店頭価格にビビッドに反映されることが多い。そのため、最近のように日々円安が進んでいく状況では、連日のように値上がりすることも起こりうる。
さらに、この傾向に拍車をかけているのが、中国における旧正月だ。旧正月は、1 月後半から 2 月前半の間で毎年移動するが、この前後 2 週間は、恒例として中国や台湾系の物流がストップするため、この時期は、例年 PC パーツ関連の商材は品薄となりやすい。2013 年の旧正月は 2 月 10 日だが、今年の場合、この品薄に加えて、円安の影響で価格上昇し始めたのを察知した消費者が、年末年始に PC パーツ製品を購入した先食いの結果、店舗側で確保している流通在庫がかなり少なくなっているようだ。品薄になれば、製品の価格は高騰するが、今の状況は、円安と中国の旧正月シーズンによる在庫薄というダブルの条件による価格高騰といえるだろう。2 月以降は、こうした状況も若干緩和されてくると思われるが、円安に関しては今後もこのトレンドが続けば、製品の価格も高止まりすることが予想され、ゆくゆくは、PC パーツだけでなく、パソコン本体の価格高騰にもつながる恐れがある。

【価格.com サイトデータ】（2012 年 12 月末現在）
月間利用者数 4,269 万人、月間ページビュー10 億 9,397 万 PV、累計クチコミ件数約 1,500 万件。

データの引用・転載時のクレジット表記について

本レポート結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明示くださいますようお願いします。
例）「価格.com トレンドサーチ」調べ、「価格.com」のデータ分析によると…など

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社カカクコム　広報室　　甲斐　内山　石橋
Tel：03-5725-4554　e-mail：pr@kakaku.com